

# ファンクション〈点 POINT〉 操作説明

2020年6月版

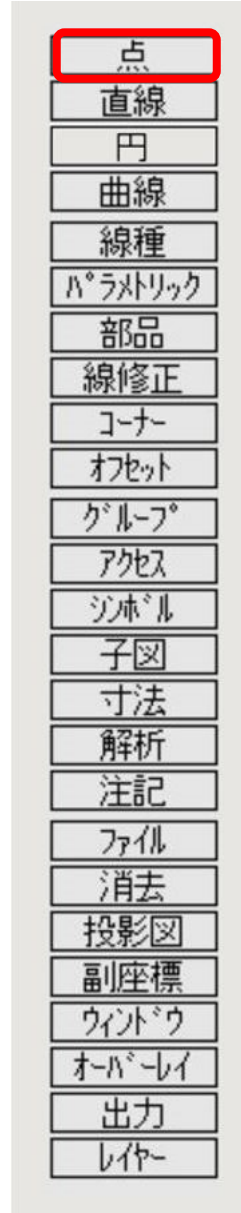
## 概略説明

ファンクション<点 POINT>は、点を作成する機能です。

座標入力による点の作成、交点や中間点の作成、構成点の作成や分割点の作成など、多彩な機能があります。

## この項で学習すること

- 座標入力による点作成
- 任意の位置に点作成
- 交点作成
- 中間点作成
- 直角投影点作成
- 端点作成
- 中心点作成
- 等分割点作成



## X,Y座標を入力して点を作成します

1. 図面「POINT\_BA20」を開く
2. <ウィンドウ> 【1】 [図1]
3. <点> 【点】
4. X座標の値として、“10”をキーイン
5. Y座標の値として、“20”をキーイン

X座標,Y座標=10,20に点（P1）が作成されます。 [図2]

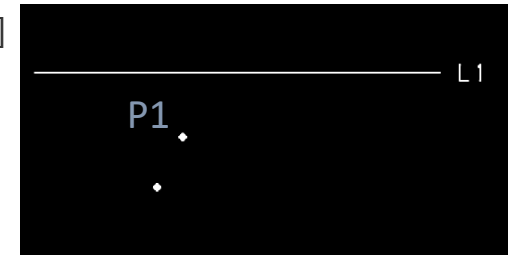
6. X座標,Y座標の値として、“20,30”をキーイン

X座標,Y座標=20,30に点（P2）が作成されます。 [図3]

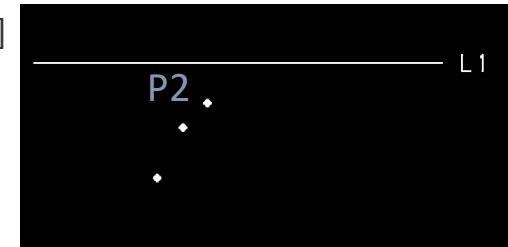
[図1]



[図2]



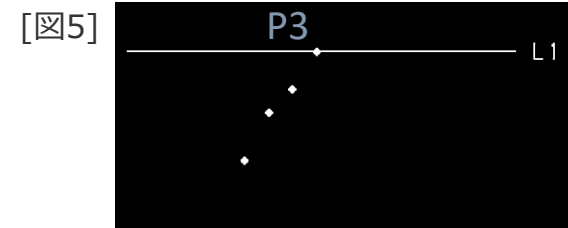
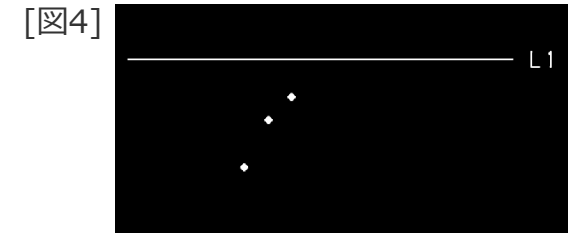
[図3]



## 既存の要素上に、入力したX(Y)座標を持つ点を作成します

1. <点> 【点】
2. X座標の値として、“30”をキーイン
3. L1をSEL [図4]

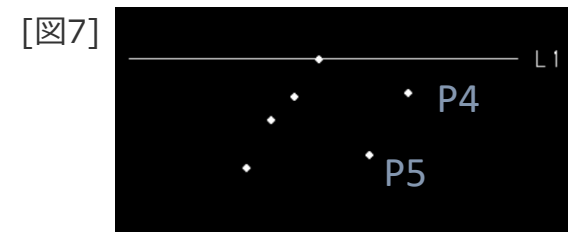
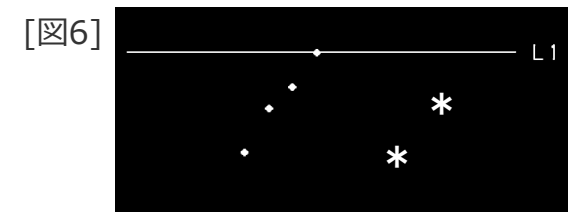
L1上で、X座標=30に点 (P3) が作成されます。 [図5]



## 任意の位置に点を作成します

1. <点> 【点】
2. 適当な位置 (\* 付近) をIND [図6]

指示した位置に点 (P4、P5) が作成されます。 [図7]



# 交点の作成 / 2点間の中点の作成

## 2直線を選択して交点を作成します

1. <ウィンドウ> 【2】 [図8]
2. <点> 【点】
3. L1をSEL
4. L2をSEL

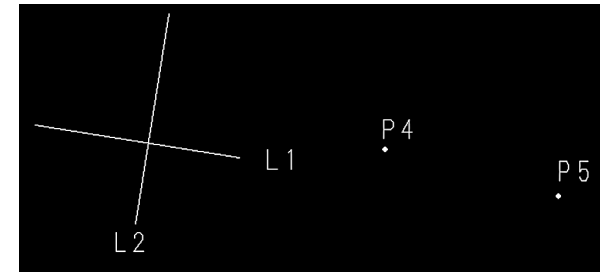
L1とL2の交点 (P6) が作成されます。 [図9]

## 2点を選択して中点を作成します

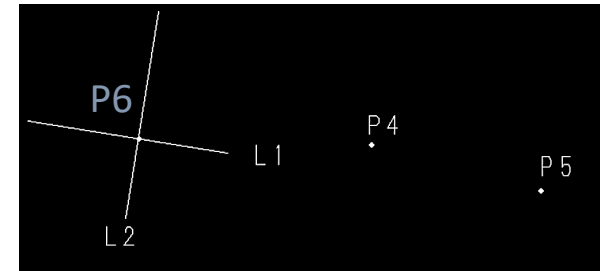
1. <点> 【点】
2. P4をSEL
3. P5をSEL

P4とP5の中点 (P7) が作成されます。 [図10]

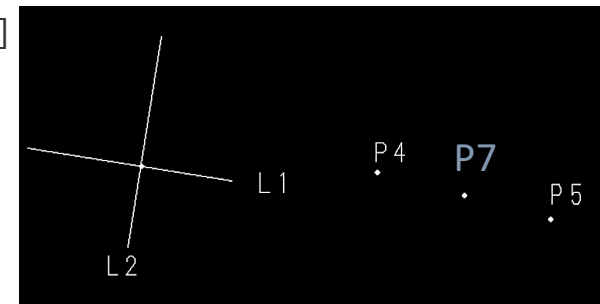
[図8]



[図9]



[図10]



## 直角投影点を作成します

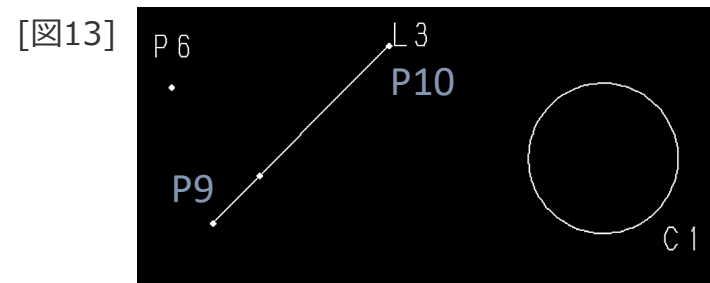
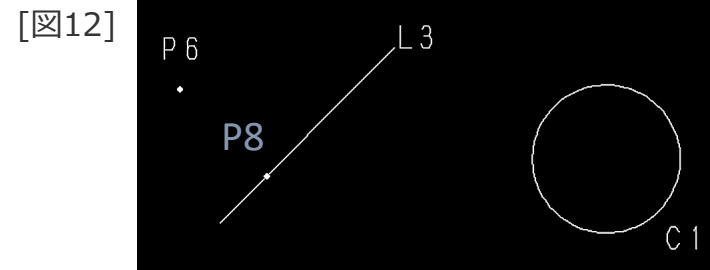
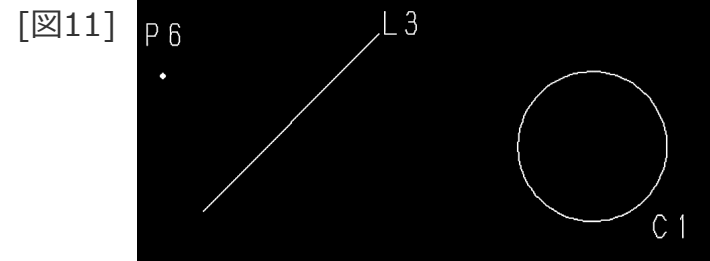
1. <ウィンドウ> 【3】 [図11]
2. <点> 【点】
3. P6をSEL
4. L3をSEL

P6からL3上に、直角に投影した点（P8）が作成されます。[図12]

## 端点を作成します

1. <点> 【点】
2. L3をSEL
3. Y/N（端点を表示）

L3の両端点（P9、P10）が作成されます。[図13]

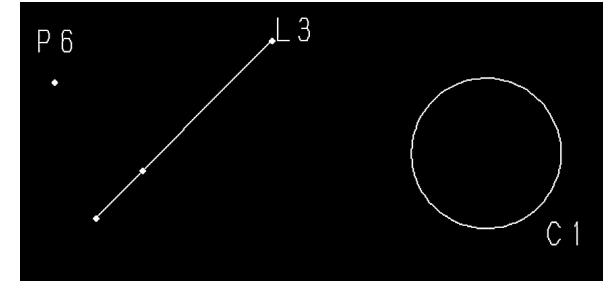


## 中心点を作成します

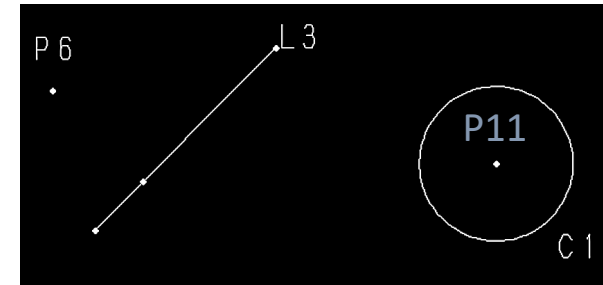
1. <点> 【点】
2. C1をSEL [図14]
3. Y/N (中心点表示)

C1の中心点 (P11) が作成されます。 [図15]

[図14]



[図15]



# 既存の2点を利用した点の作成

## 既存の2点を利用した点を作成します

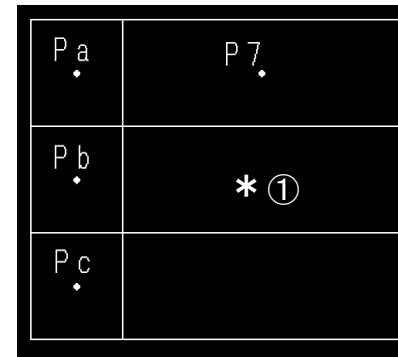
1. <ウィンドウ> 【4】 [図16]
2. <点> 【点】
3. P7をSEL
4. P7の下側（\*①付近）をIND
5. PbをSEL

X座標がP7で、Y座標がPbの点（P12）が作成されます。[図17]

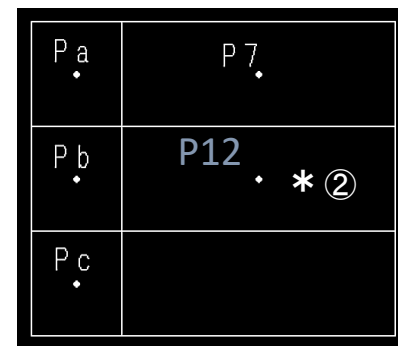
6. P7をSEL
7. P7の下側（\*②付近）をIND
8. PcをSEL

X座標がP7で、Y座標がPcの点（P13）が作成されます。[図18]

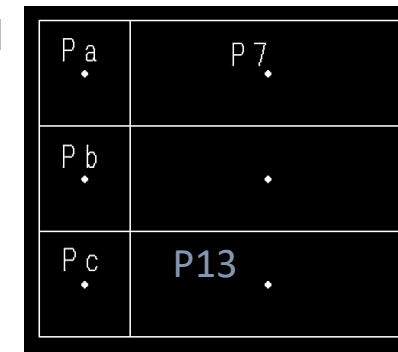
[図16]



[図17]



[図18]



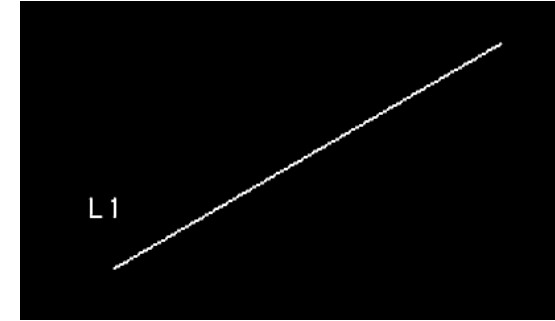


## 等分割点を作成します。

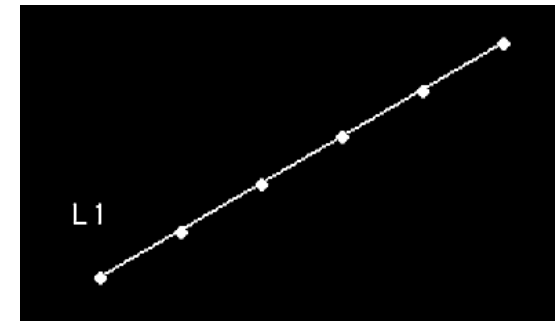
1. 図面「PT-SEP\_BA20」を開く
2. <ウィンドウ>【1】 [図19]
3. <点>【分割】
4. L1をSEL
5. 分割数として、“5”をキーイン
6. Y/N（全体を分割）

要素を等分割する点を作成されます。 [図20]

[図19]



[図20]



# 基準点から指定した間隔で等分割点を作成

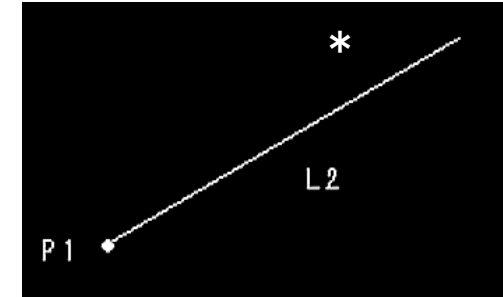
基準点から指定した間隔（ピッチ）で等分割点を作成します。

1. <ウィンドウ> 【2】
2. <点> 【分割】
3. L2をSEL [図21]
4. 分割数として、“5”をキーイン
5. 基準となる点（分割の開始点）としてP1をSEL
6. 分割するピッチとして、“20”をキーイン
7. 分割点を作成する方向（\*付近）をIND

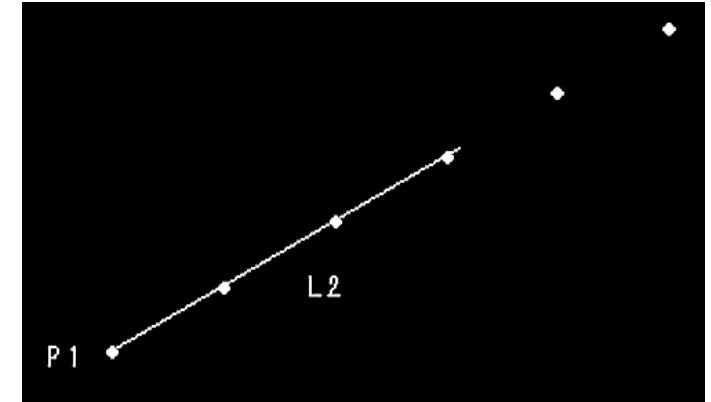
指定したピッチで等分割した点を作成されます。 [図22]

分割数×ピッチが線分の長さを超えた場合、線分の延長上に点を作成されます。

[図21]



[図22]



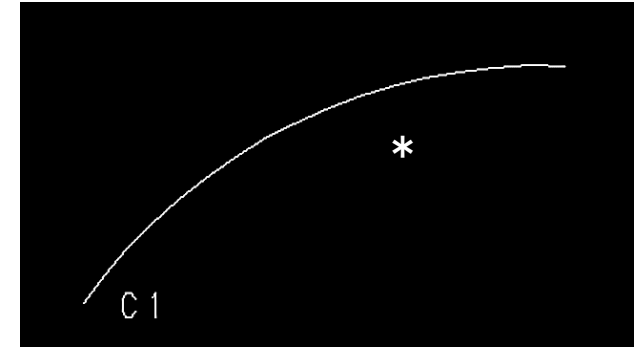
# 等分割点の作成と同時に子図を配置（方向指示点なし）

## 等分割点作成と同時に子図を配置します。（方向指示点なしの場合）

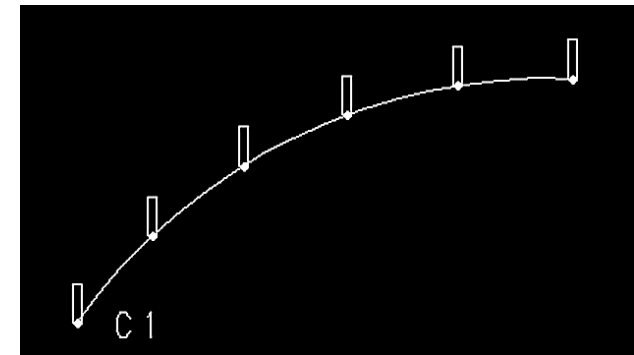
1. <ウィンドウ> 【3】 [図23]
2. <点> 【分割】 【子図配置】
3. 子図番号として、“1”をキーイン  
（または【リスト】で子図1を選択してOK）
4. 配置スケールとして、“0.2”をキーイン  
（子図配置時に任意のスケール指定が可能）
5. C1をSEL
6. 分割数として、“5”をキーイン
7. Y/N（要素全体を指定）
8. 方向として\*付近をIND

C1 全体を等分割する点に子図が配置されます。 [図24]

[図23]



[図24]



# 等分割点の作成と同時に子図を配置（方向指示点あり）

## 等分割点作成と同時に子図を配置します。（方向指示点ありの場合）

1. <ウィンドウ> 【4】 [図25]
2. <点> 【分割】 【子図配置】
3. 子図番号として、"2"をキーイン  
（または【リスト】で子図2を選択してOK）
4. 配置スケールとして、"0.25"をキーイン  
（子図配置時に任意のスケール指定が可能）
5. SP1をSEL
6. 分割数として、"5"をキーイン
7. Y/N（要素全体を指定）

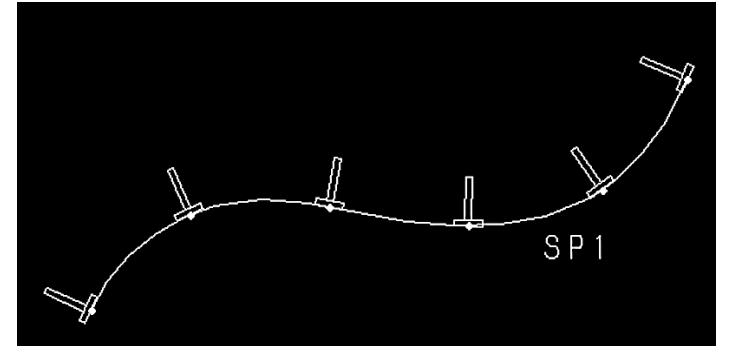
SP1 全体に分割点で接するように子図が配置されます。 [図26]

子図の基準点-方向指示点を結ぶ線が要素に接するように配置されます。

[図25]



[図26]





※当資料内の文章・画像・商標等（以下、「データ」）に関する著作権とその他の権利は、弊社または原作者、その他の権利者のものです。企業等が非営利目的で使用する場合、個人的な使用を目的とする場合、その他著作権法により認められている場合を除き、データは弊社、原作者、その他の権利者の許諾なく使用することはできません。

※データ等のご利用またはご利用できなかったことによって生じた損害については、弊社は一切の責任を負わないものとし、いかなる損害も補償をいたしません。

※掲載されている内容は2020年6月時点のものです。内容は、事前の予告なしに変更することがあります。

MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。  
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。